

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[構文](#)

[機能](#)

[強い通信パラメータ](#)

[関連情報](#)

概要

スイッチ ノード (IGX または BPX) が多くのリアルタイム (80 ~ 90 パーセント) を消費している場合、このリアルタイムの一部を再設定し、回復するには `cnfrobparm` コマンドを使用できます。

前提条件

要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントは、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

構文

```
cnfrobparm <index> <value>
```

<index> が設定するためにパラメータをおよび規定 する一方、<value> はパラメータのために入るべき New 値を規定します。

機能

このスーパーユーザ コマンドが頑強なアラームによって関連付けられるタイマーを設定 するために使用されています。 頑強なアラームは node-to-NMS 通信のためのプロトコルです。 これらのパ

ラメータはソフトウェアにどの位の割りで強い状態マシンを実行するためにおよびメッセージの間で待つためにどの位告げます。

強い通信パラメータ

いいえ。	パラメータ	説明	デフォルト
1	強い状態目覚しタイマー (秒。)	この状態マシンはライフに毎秒 (デフォルト) 来ます。このタイマーが増長される場合、より少しを頻繁に操作し、ノードプロセッサで負担のより少しをかけます。	10 秒。
2	Robust Update タイマー (秒。)	メッセージが NMS に送られたら、もう 1 つはこのタイマーが切れる前に送信されません。	10 秒。
3	強い確認応答タイムアウト (秒。)	この時間内の NMS によって確認応答が戻す通信リンクがダウンしていることを仮定されます。	30 0 秒。
4	強い確認応答リセットタイムアウト (秒。)	リンクがダウン状態になり、続いて修理される場合、次のメッセージはこのタイムアウトの後で送信されます。リンクのための演算時間を提供します。	60 秒。

関連情報

- [WAN スイッチング製品のための新しい名前とカラーのガイド](#)
- [ダウンロード : WAN スイッチング ソフトウェア \(登録ユーザ専用 \)](#)
- [テクニカルサポート - Cisco Systems](#)